

就職戦線異状なし 人生の岐路を歩む



5年生 尾台 佑果
群馬県 桐生女子高等学校出身

5年生 高野 翔太
東京都 九段高等学校出身

5年生 小田切 淳平
秋田県 花輪高等学校出身

5年生 山田 千尋
千葉県 佐原高等学校出身

本日は、就職活動を行っている5年生にお話を伺いました。

皆さんは、「就職」についてどんな風に考えていますか？

(尾台) 就職って、「お金をもらうこと。」って言ったらストレートすぎるかな(笑)。

(高野) ははは、いいんじゃないのかな？(笑) だって、実際そうなんだからさ。でも、あんなに長いな〜って思っていた薬学部での6年間も、あと1年なんだなって思うと、しみじみしちゃうよ。就職活動始まること、いよいよ卒業を実感するね。

(小田切) そう言えば高野はMR(医薬情報担当者：製薬企業の営業職)希望だったよね。薬剤師の資格をそのまま活かそうとは思わなかったの？

(高野) まあね。JIUの薬学部に入って、最初は「俺、大丈夫かなあ〜」ってすごい不安だったけど、「しゃんとしよう」って思ってた毎日を送っていたら、結構がんばれて……。学年が進むに連れて、いろんなことに挑戦したいなって思えるようになったんだ。だから最初は研究職なんかにも憧れて、薬理学の研究室に配属したんだけど……。やっぱり学士卒だと研究職は厳しいかなって……。それで僕なりにいろいろ考えて、MRにしようって。薬学教育が6年制になって薬剤師育成のイメージが強くなったのかも知れないけど、僕は一般企業に就職したいなってずっと考えていたんだ。小田切は、病院だったよね。

(小田切) 実は俺も、一度はMR考えていたんだ。でも実習に行って、薬剤師さんの働く環境っていいのか、患者さんと実際に触れ合ってみて、やっぱり薬剤師として働きたいなって。あと、将来は地元(秋田)に戻りたいなっていうこともあって、病院に絞って就活している。

(山田) 高野くんも小田切くんも、どこに就職したってデキルって感じだから大丈夫だね。私は、調剤とOTCを扱えるドラッグストアを就職先に考えているんだ。小田切くんが感じているように、やっぱり患者さんと直接触れ合えるっていうのは「やりがい」を感じるようになって思えるから……。それにドラッグストアで薬剤師をするってことにすごく可能性を感じているんだ。医療過疎っていうのかな、医療にアクセスが困難な人たちにとって、OTCってすごく大事だと思うんだ。薬剤師としてOTCの適正使用っていいのか、トリアージがしっかりできるようになれば、もっと患者さんに貢献できると思うし、医療費の問題なんかにも多少なりとも貢献できるのになって(笑) まだ薬剤師にもなっていない私が言うのはすごくおこがましいけど……。

(尾台) 千尋らしい考え方だね。でも、そうだね。大学でも、薬剤師による「軽医療」とか「トリアージ」とかを学んでいるけど、もっと積極的に医療に関わる薬剤師を目指したいよね。私は親が薬剤師で小さい頃から薬剤師として働く親の姿を見て

育って……。『薬剤師ってかっこいいな』って思ったから薬学部に進んだんだ(笑)。で、実際にいろんなこと勉強して、実習も経験して……。いろいろ考えたんだけど「病院」がいいかなって、それも地元の。実は私、地元にある大学への進学を親に勧められていたんだけど、私のワガママでJIUに通わせてもらったから、就職したら地元に戻ろうかなって気持ちもあってね。

(小田切) そういうのっていいよね。親への感謝の気持ちとか、地元愛とか(笑) 就職するってことは、当たり前だけど職種や業態だけではなくて、生活する場所とかも決まってくるんだよね。ホント、これからの人生を決める、最初の一步って感じだね。

皆さんは、どんな「将来」を描きますか？

(山田) 将来かあ〜。そうだね、就活していると「行き先」探しをしているような気分になっちゃうけど、「行った先」で「何をすべきか」って言うのか、「何をしよう」、「何ができるんだろう」ってことを考えて就活しなきゃいけないんだよね(笑) でも、正直あんまり考えていなかったなあ〜って自省することもあるかな？

(高野) そうだね。でも、結局行った先で、そこにある社会っていいのか、環境とか人とかを実際に感じないと、具体的な絵って描きにくいよね。でも僕は、いつでも「立ち止まらない大人」になりたいなって思っている。実際の社会を知らないからすごく独善的かもしれないけど、MR職って組織には属してはいるけど個人の判断や決断力を求められる職種だと思うし、自分の行動が結果に現れやすいのかなって思っているんだ。だから常に前に進むことを考えられる社会人でありたいなって。もちろん、難しい局面で立ち止まることもあるかもしれないけど、長い目で見れば前に進んでるっていうのか……。

(尾台) 高野くんは「自分がしっかりしている」から強いよね(笑) 私は、なんか自分のことよりも患者さんや多職種と専門家と「いい関係」を築いていけたらなって思うんだ。なんか自分で自分のこと観るよりも、周囲の人を観ることで、自分自身の姿がそこに映るっていうのかな……。だから「チーム医療」の一員となって患者さんに貢献できる薬剤師になりたいなって思っているんだ。

(小田切) そうだね。やっぱり臨床で働くからには、患者さんを一番に考えられる薬剤師になりたいよね。でも、患者さんへの「貢献」って……。薬剤師として薬物治療の専門家でありたいっていうのは当たり前なんだけど、それ以外に「患者さんを理解する」って口に出すのは簡単だけど……。本当に他者を理解するって難しいことだと思うんだ。

(山田) 人と人の合う、合わないってあるからね。性格的なこともあるだろうけど……。でも医療者としてはあらゆる患者さんに全人的医療を提供しなきゃいけないから……。自分が良かれと思ったことだって、他者には「どう感じるんだろう？」って不安

に思うこともあると思うけど、それでも自分を信じて行動できる大人になりたいね。

(小田切) 自分を信じられる大人。かっこいいよね(笑) でも、今の自分では、まだ自分自身を信じられないと思うんだ。自分に自信がないとか、そういうことではないんだけど……。まだ世間知らずだと自分でわかるから。だから残りの大学生活も含めて、もっと経験値を高めたいって思っているんだ。いろんな仲間といろんな経験をして、自分自身だけではなく、仲間の気持ちや感情も理解できるように。

(高野) ホント、大学の中でもまだまだいろんな経験できるチャンスはあるし、就活なんかで知り合った他大学の学生ともお互い刺戟を与え合う存在になりたいから、経験を重ねて成長していきたいよね！

先輩に伝えたい、メッセージを一言

(山田) 私もそうだったけど、頭では低学年次の頃から就職のこと考えていたけど、実際に5年になって本格的な就職活動が始まると、「今まで何やっていたんだろう」ってくらい本気度が違うってことに気付くと思う。だから「今から準備した方がいいよ」って言うのは簡単だけど、みんなもイメージが湧かないと思うんだ。それよりも高野くんや小田切くんが言っているように、いろんなことにチャレンジした方がいいと思う。経験して初めて感じるってすごく多いしね。

(尾台) ホント！大学では地域医療や国際関係の研修もけっこうあったりするから、積極的に参加することをお勧めします。最初は友達と一緒に……。でも、そのうち1人でも参加できるようにチャレンジ精神を持って、絶対就活のときには力になると思う。面接受けることかだけじゃなくて、「自分の進む道」を決める決断に影響してくると思う。やっぱり「楽しい」と思えることを将来の仕事にするってことは、とても大事なことだと思う。楽しいと自分自身が感じなければ、長く続かないだろうからね(笑)

(小田切) 僕が就活して思ったことは、「実際に働きたいと思った職場以外についても、しっかり調べる事が大切だ」ってこと。変に固定概念をもって突き進んじゃうと、後々後悔する事になると思う。だから、先生方や先輩、色々な人たちにアドバイスをもらった方がいいと思う。人の価値観はそれぞれだし、色々な話を聞いて、自分には何が1番向いているのかを考えれば良いと思う。そういう意味では、しっかりと先輩とのつながりや、気楽に相談できる先生との関係を維持するってことは、今から「準備」できることだから、日々気にかけて欲しいな。

(高野) そうだね！「準備」は本当に大切なことだと思う。「経験は、した者にしか分らない！」って言うし、とにかく学生時代にやってきた全てのこと、就職活動をした際に自分に還ってくるんだから「今を楽しむ」ことも大切だね。自分の学生生活を、自信を持って話せるよう、たくさんの方の経験を幅広い視野を持って下さい！

「遠くの大病院よりも、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

2013年 城西国際大学 就職面談会

平成25年2月18日 アパホテル & リゾート 東京ベイ幕張



アパホテル&リゾート東京ベイ幕張にて2013年城西国際大学就職面談会が開催されました。全学の3年生および薬学5年生を対象に、194の企業が出展くださいました。このうち薬学関連では50の企業参加があり、本学卒業生がリクレーターとしてご出席くださる企業も多く見られました。

社会で活躍する先輩からのメッセージ！

- ・ 人との関わり合いを大事に、たくさんの繋がりを作ってください
- ・ ホントの自分に気付かせてくれる仲間を見つけてください
- ・ (趣味でもいいから) 1つだけ、深く追求する経験してください
- ・ 外に飛び出そう！ 自らの判断と、自らの足で
- ・ 一つでも多くの経験を積み重ねてください



株式会社 クリエイト エス・ディー
平尾 絵梨子さん (2012年卒)



株式会社 ファーコス
門間 路代さん (2008年卒)



株式会社 マツモトキヨシ
田口 徹さん (2012年卒)



牛久愛和総合病院
山崎 摩耶さん (2012年卒)



株式会社 ばばす
山森 大樹さん (2009年卒)



寺島薬局 株式会社
上野代 香里さん (2012年卒)



株式会社 イノベーション
オフメディカルサイエンス
岩崎 智美さん (2009年卒)



株式会社 カメガヤ
佐藤 貴之さん (2012年卒)



ウエルシア関東 株式会社
原沢 和美さん (2012年卒)



ファーマライズホールディング
株式会社
内山 みさきさん (2012年卒)

2013年度生 募集 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試・広報センター TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp <http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>